

2026年12月期
第1四半期
決算説明資料

2026年5月22日
株式会社やまびこ

1. 2026年12月期 第1四半期 決算概要	3	APPENDIX	17
2026年12月期 第1四半期 経営成績	4	会社概要	18
セグメント別経営成績	5	やまびこの歩み	19
売上高実績（セグメント・地域別）	6	業績推移と売上構成	20
連結売上高および連結営業利益の増減	7	事業セグメント：小型屋外作業機械（OPE）	21
四半期別業績推移	8	事業セグメント：農業用管理機械	22
		事業セグメント：一般産業用機械	23
2. 2026年12月期 業績予想	9	国内生産体制	24
2026年12月期 通期予想	10	海外生産体制	25
連結売上高のセグメント別増減予想（円換算ベース）	11	販売体制	26
連結営業利益の増減予想	12	主要販売子会社：やまびこジャパン株式会社	27
設備投資・研究開発費・減価償却費	13	主要販売子会社：エコー・インコーポレイテッド	28
株主還元政策	14	主要販売子会社：やまびこヨーロッパ・エス・エイ	29
トピックス	15	主な販売経路	30
やまびこの存在意義	16	国内・海外のユーザー	31

1

2026年12月期
第1四半期
決算概要

- 売上高は前年同期比で増加。主力のOPE※において、北米市場で自走式芝刈機やチェーンソーの販売がホームセンター向けを中心に伸長。欧州市場でも、ロボット芝刈機の販売が寄与。

- 損益面は、営業利益が主に売上の増加と為替効果により増益。前期の為替差損が今期は為替差益に転じたことで、経常利益および最終利益も増益。

為替レート

通貨	25/12期 1Q	26/12期 1Q	前年同期比(%)
1ドル	153 円	157 円	+2.9
1ユーロ	161 円	184 円	+14.4

<p>売上高</p> <p>49,351百万円</p> <p>前年同期比 +12.7%</p>	<p>営業利益</p> <p>6,500百万円</p> <p>前年同期比 +16.6%</p>	<p>親会社株主に帰属する 四半期純利益</p> <p>4,495百万円</p> <p>前年同期比 +46.8%</p>
--	--	---

(百万円)	25/12期 1Q 実績	構成比 (%)	26/12期 1Q 実績	構成比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	43,785	100.0	49,351	100.0	+12.7
売上原価	28,738	65.6	33,223	67.3	+15.6
販管費	9,471	21.6	9,628	19.5	+1.7
営業利益	5,575	12.7	6,500	13.2	+16.6
経常利益	4,946	11.3	6,622	13.4	+33.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,063	7.0	4,495	9.1	+46.8

(※) 「OPE」 = Outdoor Power Equipment

売上高

(百万円)

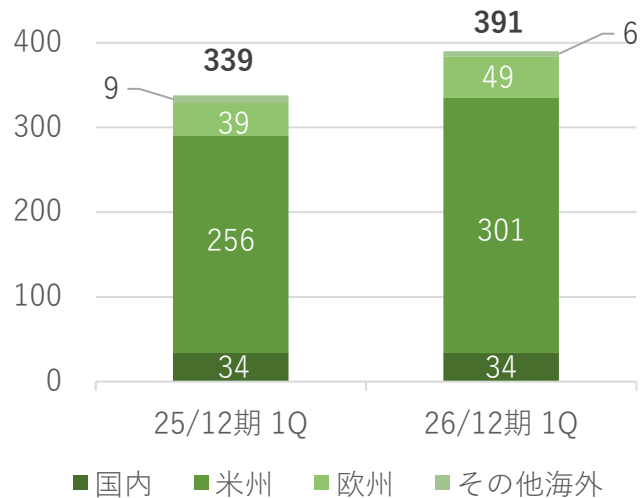
セグメント	25/12期 1Q	26/12期 1Q	前年比 (%)
合計	43,785	49,351	+12.7
小型屋外作業機械	33,910	39,100	+15.3
一般産業用機械	3,640	4,100	+12.6
農業用管理機械	5,593	5,583	▲0.2
その他	641	567	▲11.6
(調整額)	-	-	-

営業利益

(百万円)

セグメント	25/12期 1Q	26/12期 1Q	前年比 (%)
合計	5,575	6,500	+16.6
小型屋外作業機械	8,059	8,857	+9.9
一般産業用機械	284	147	▲48.3
農業用管理機械	▲210	19	-
その他	187	115	▲38.4
全社共通費	▲2,745	▲2,639	▲3.9

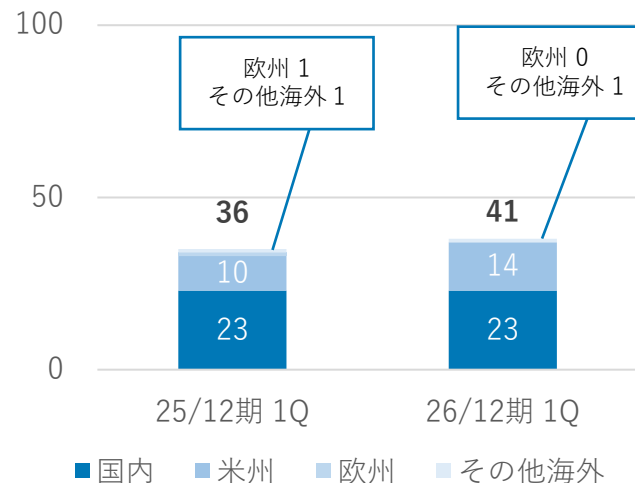
小型屋外作業機械（OPE）



地域	前年同期比
国内	+0.0%
米州	+14.5%
（うち北米）	(+15.2%)
欧州	+8.1%

※海外地域の前年同期比は為替影響を除く

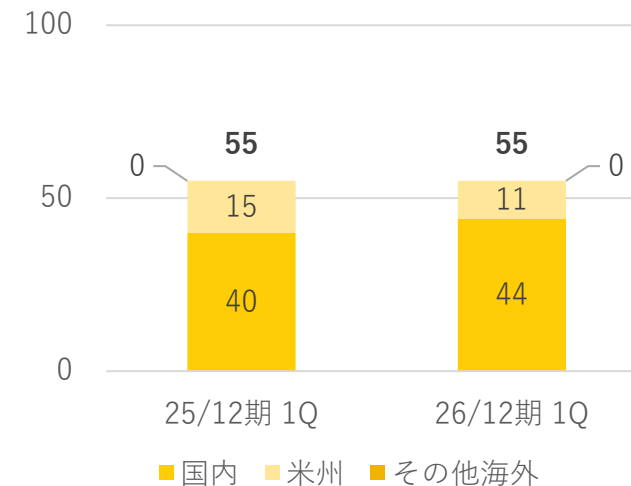
一般産業用機械



地域	前年同期比
国内	+0.9%
米州	+41.5%
（うち北米）	(+35.0%)

※海外地域の前年同期比は為替影響を除く

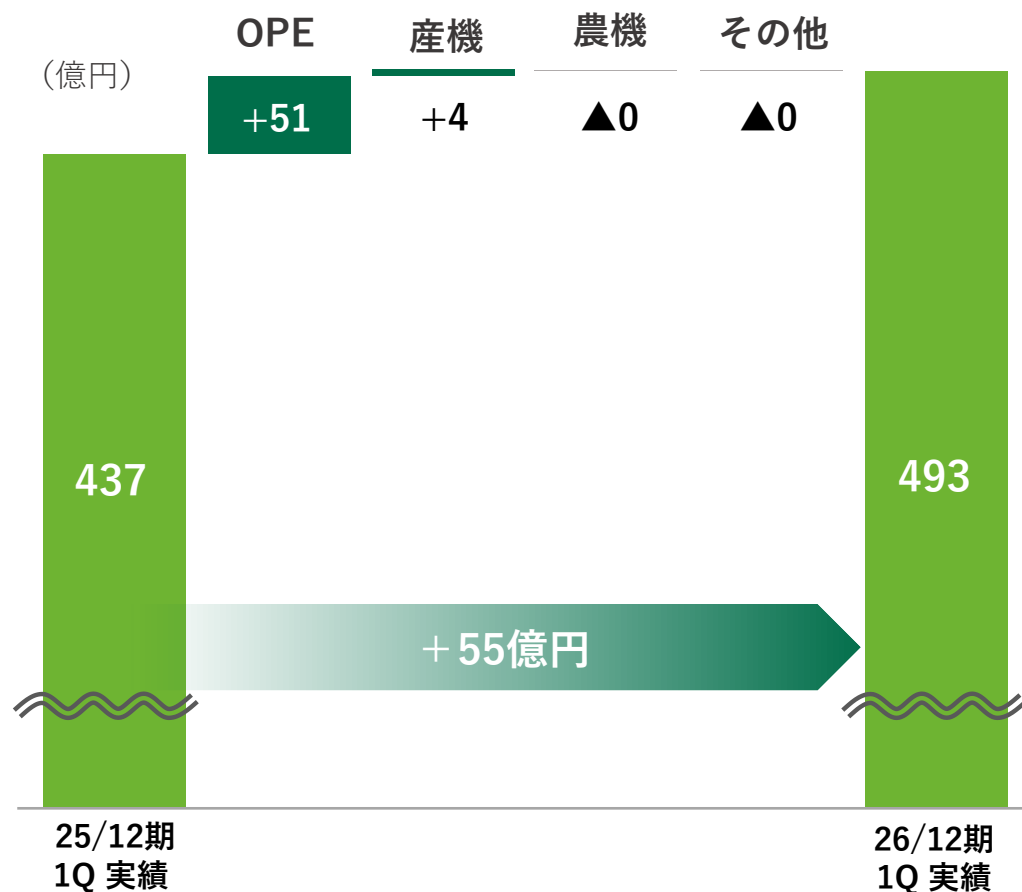
農業用管理機械（単位：億円）



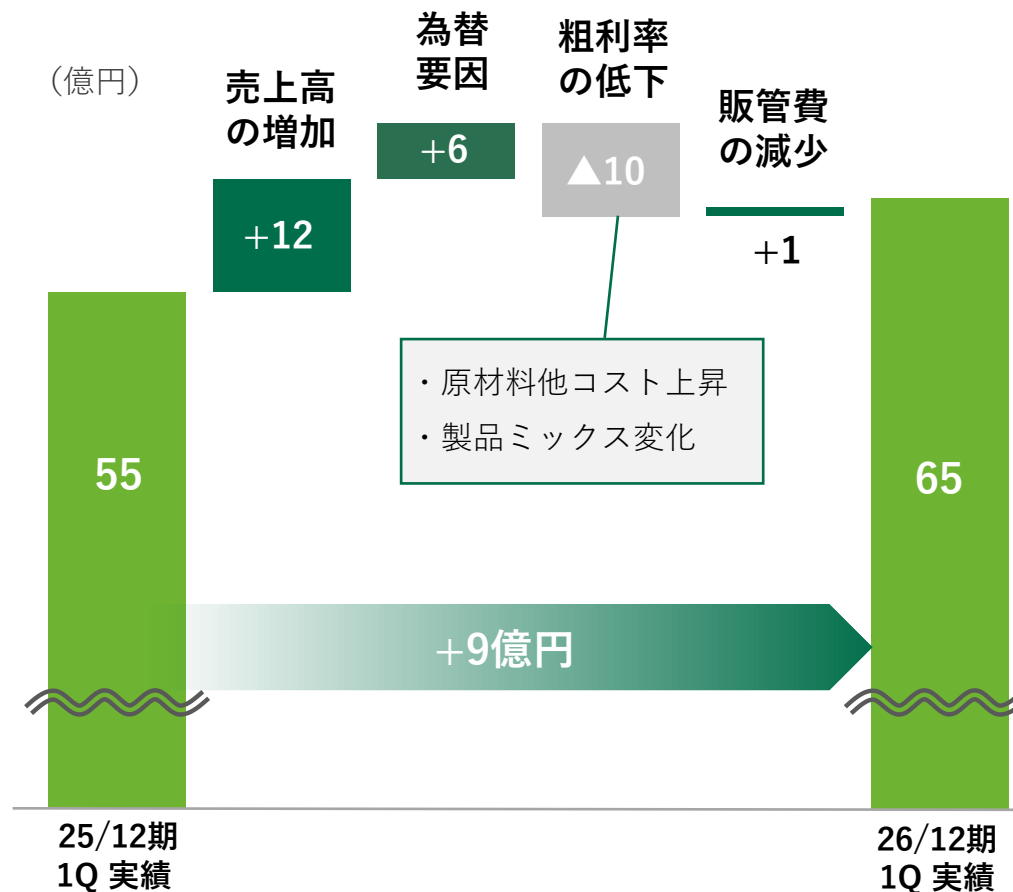
地域	前年同期比
国内	+9.3%
米州	▲28.1%

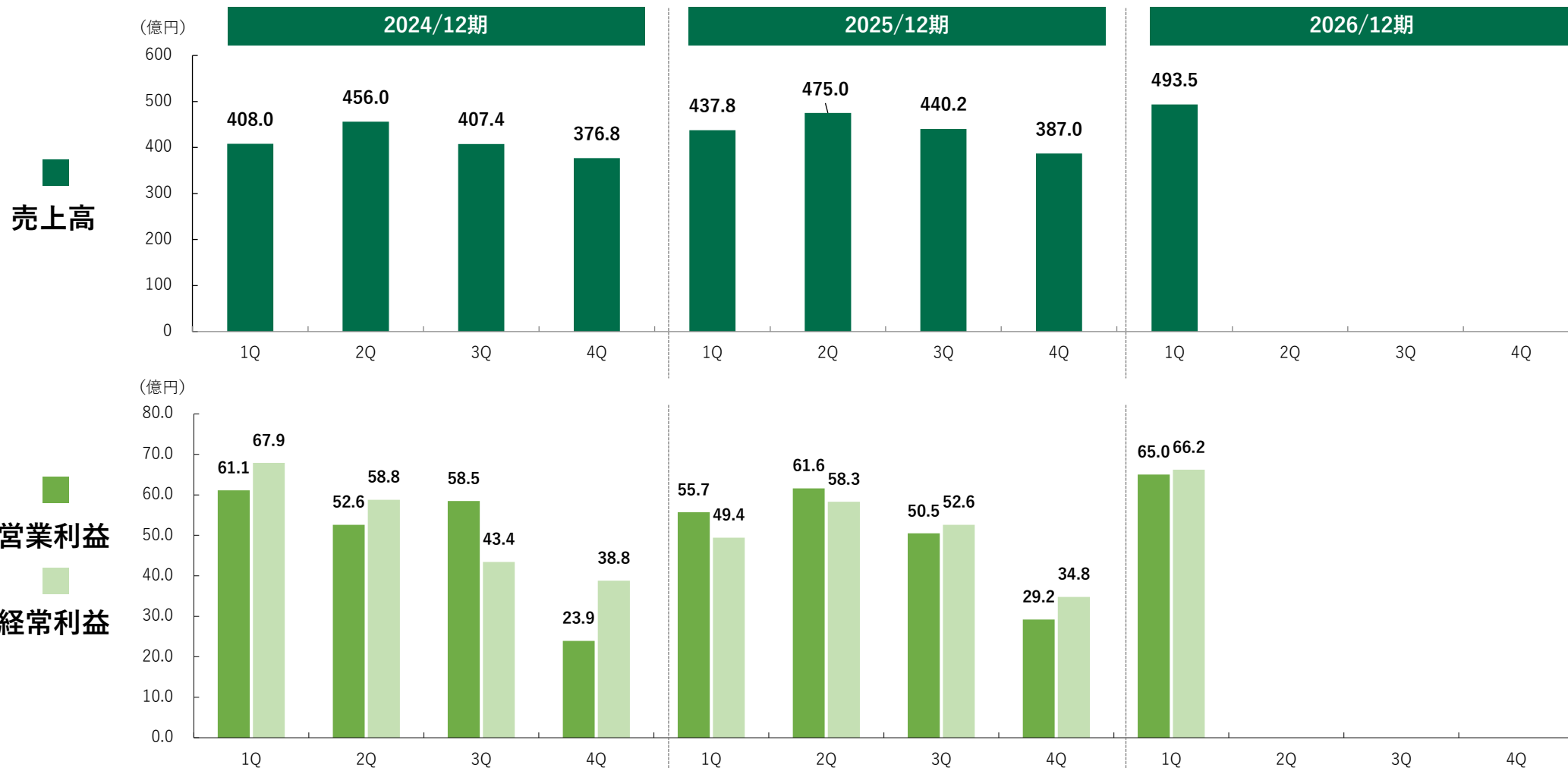
※海外地域の前年同期比は為替影響を除く

売上高



営業利益





2

2026年12月期
業績予想

- 通期業績予想は期初予想から変更無し。
- 北米市場におけるOPEと一般産業用機械の伸長に加え、欧州事業の規模拡大を推進する。
- 損益面では、人的資本やIT分野への投資拡大に伴う費用の増加を見込むものの、昨年実施した価格改定効果が通期で寄与するとともに、収益性の高いロボット事業の拡大も貢献。米国・イスラエルとイラン間の紛争により、今後の原材料価格の高騰や調達において依然不透明な状況が継続しているものの、調達ルートの変更や代替材の検討により影響が生じないよう対応していく。

(百万円)	25/12期 実績	構成比 (%)	26/12期 予想	構成比 (%)	前年比 (%)
売上高	174,020	100.0	185,000	100.0	+6.3
売上原価	115,694	66.5	122,500	66.2	+5.9
販管費	38,603	22.2	41,500	22.4	+7.5
営業利益	19,722	11.3	21,000	11.4	+6.5
経常利益	19,537	11.2	20,000	10.8	+2.4
親会社株主に帰属する当期純利益	14,444	8.3	15,000	8.1	+3.8

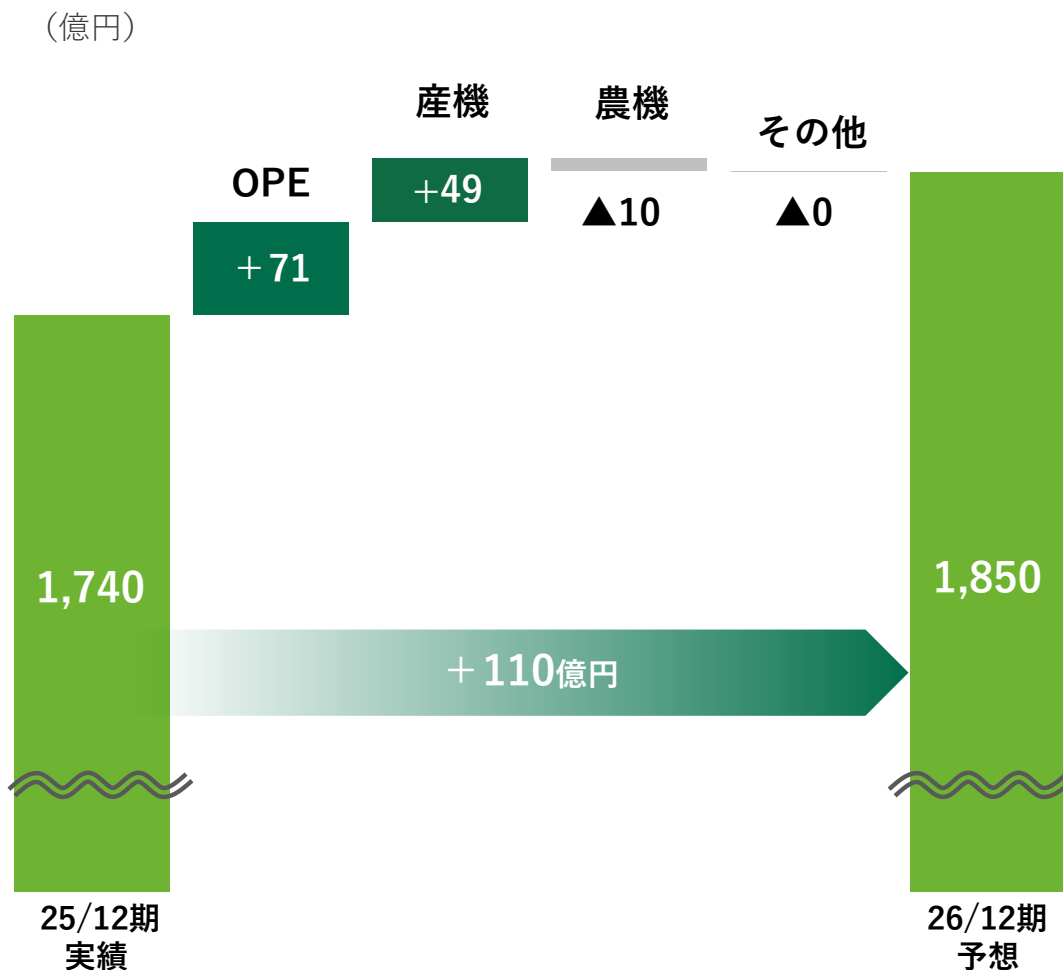
為替レート

通貨	25/12期	26/12期 予想
1ドル	150 円	150 円
1ユーロ	169 円	175 円

2026年2Q-4Qの為替影響

(1円変動/円安:+, 円高:-)

通貨	売上高	経常利益
1ドル	±5.7 億円	±1.0 億円
1ユーロ	±0.9 億円	±0.8 億円



小型屋外作業機械(OPE)

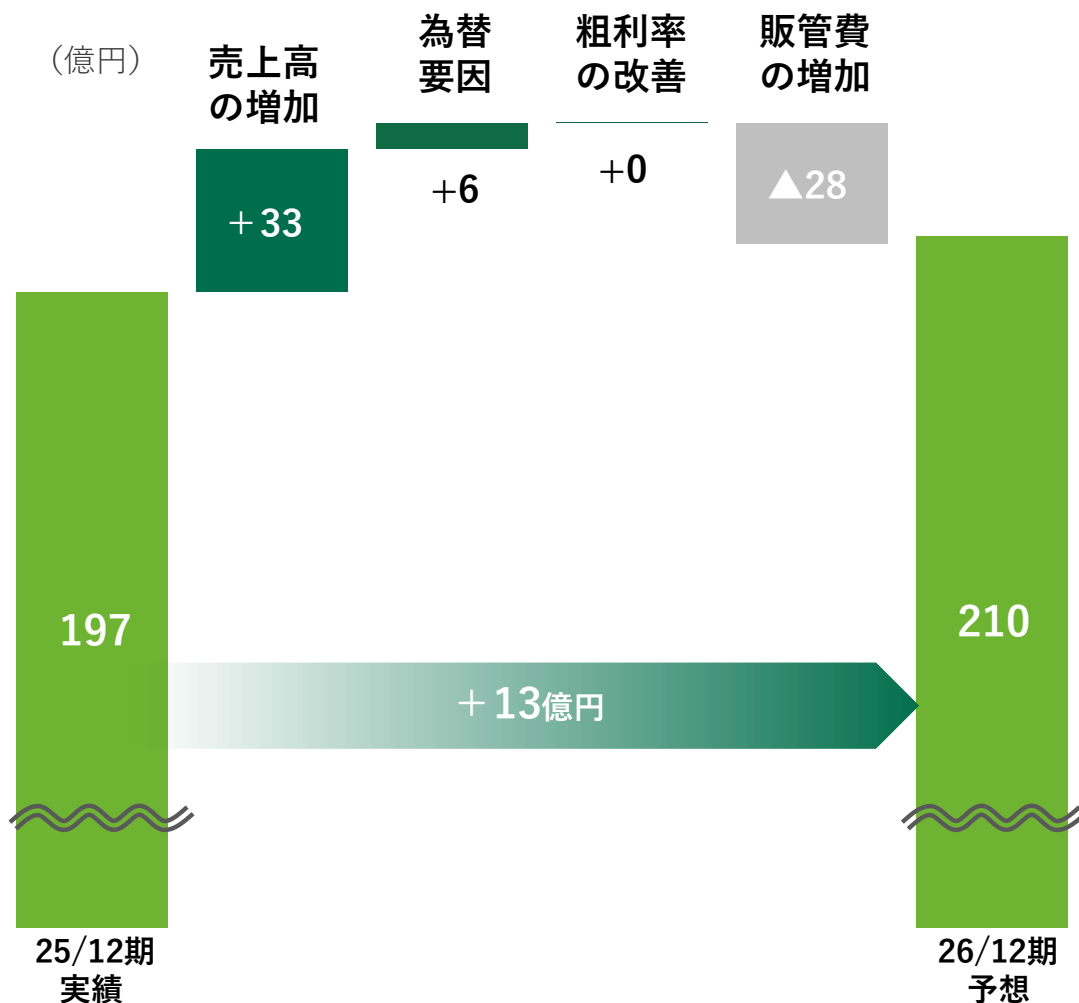
持続的成長を続ける北米市場において、特にホームセンター向けを中心に堅調に推移するほか、欧州でもロボット芝刈機をはじめとしたOPE製品の好調な販売継続により売上増加を見込む。

一般産業用機械(産機)

北米市場において、現地レンタル会社向けの販売回復や、昨年取得した投光機事業による販売増加を見込む。

農業用管理機械(農機)

引き続き北米における穀物価格の低迷等を背景に、農業従事者の設備投資意欲が低下しており、減収の見通し。



売上高要因

為替の影響を除いた実質売上高の増加による利益増。

為替要因

前期実績に対しての円安想定（主にユーロ）による利益の増加。

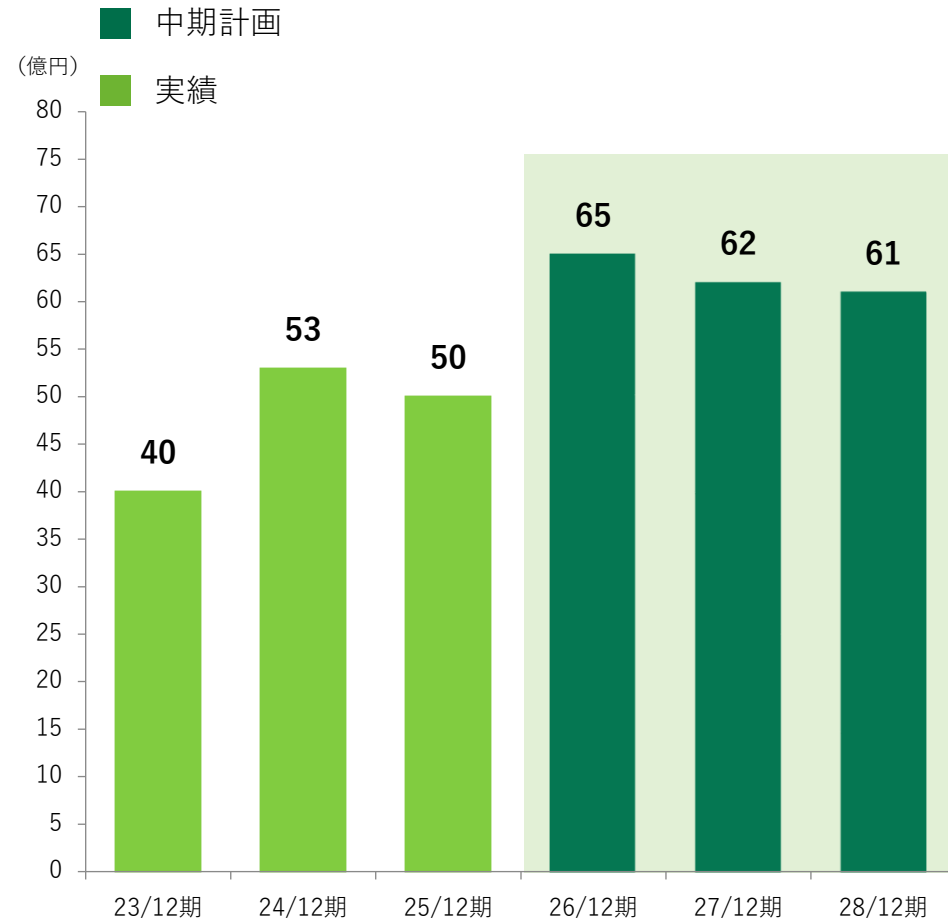
粗利率

材料費等のコスト上昇や米国関税影響を受けるも、昨年実施した価格改定効果の通期寄与および収益性の高いロボット事業拡大により維持。

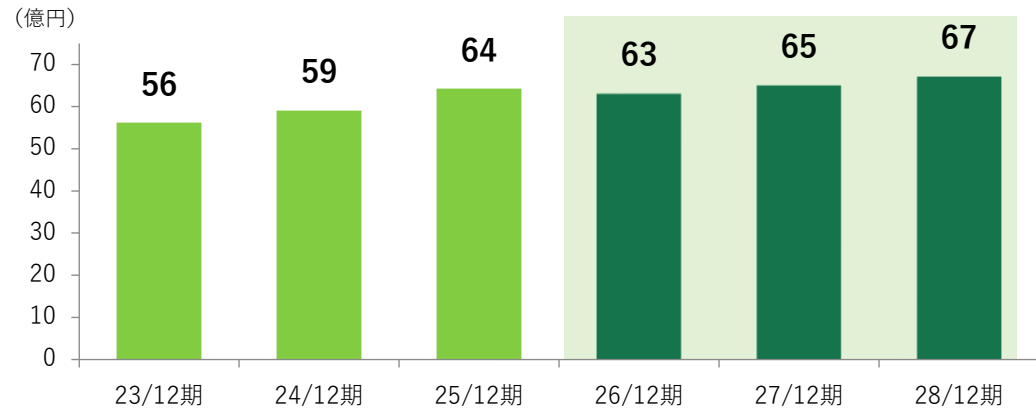
販売管理費

人的資本投資やIT分野への投資拡大、研究開発費（新規事業等）等の販管費の増加を見込む。

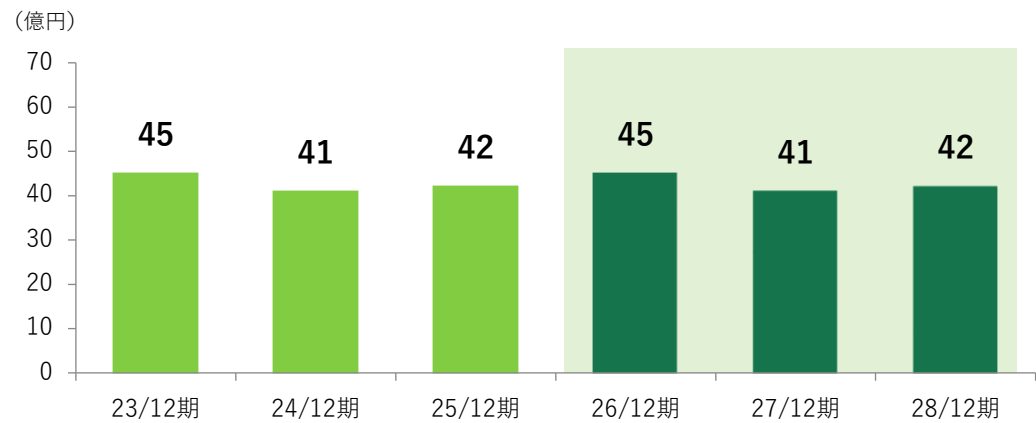
設備投資



研究開発費

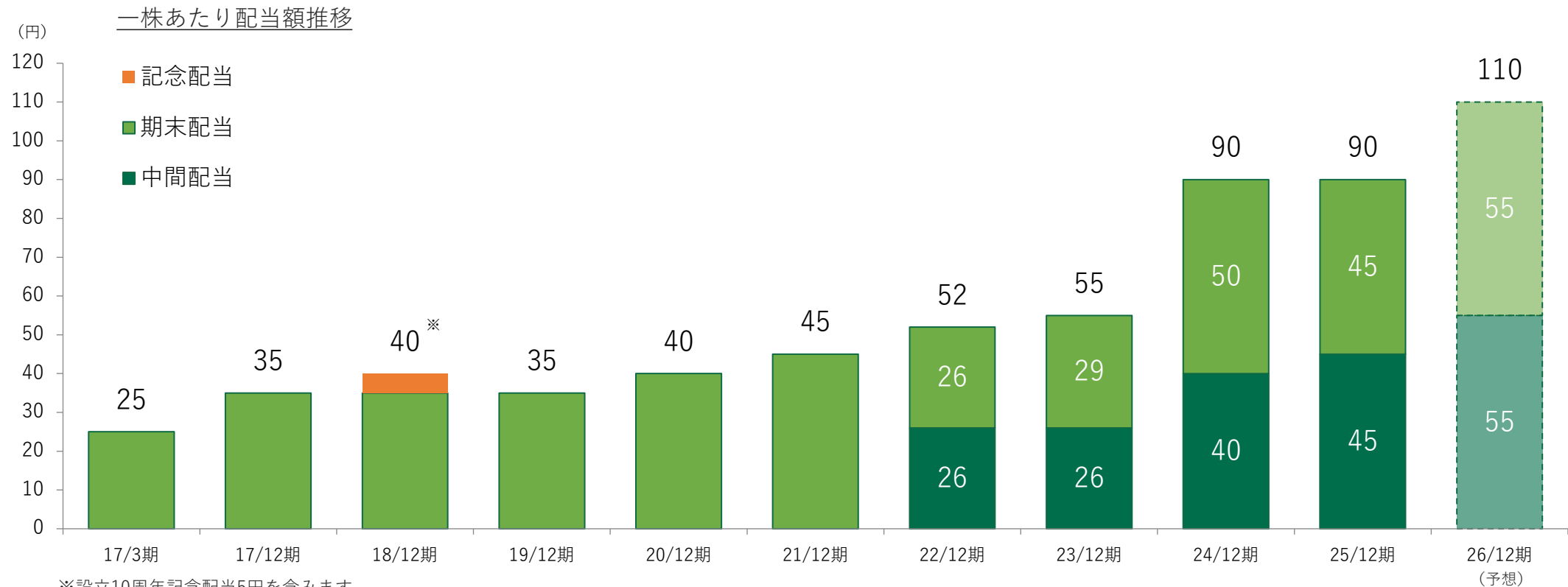


減価償却費



配当性向30%を目安に、過去の配当実績に基づいた安定的な配当を継続

- 成長投資の進捗状況や財務状況等を勘案するとともに、株式市場の動向も注視し、自己株式の取得を含めた総合的な還元策を検討
- 26/12期の配当は中間・期末ともに55円とし、年間110円（前期比20円の増配）の予定



北米最大級の建設機械展示会「CONEXPO-CON/AGG 2026」に出展（2026年3月）

- ・ 米国子会社エコーインクがCONEXPO-CON/AGG 2026に出展
- ・ 年初に事業取得した投光機に加え、400kVAの大型ディーゼル発電機等を展示
- ・ ECHOブランドと北米市場における一般産業用機械事業のラインアップ強化を訴求



エコーインクの展示ブース

第8回国際建設・測量展「CSPI 2026」に出展予定（2026年6月）

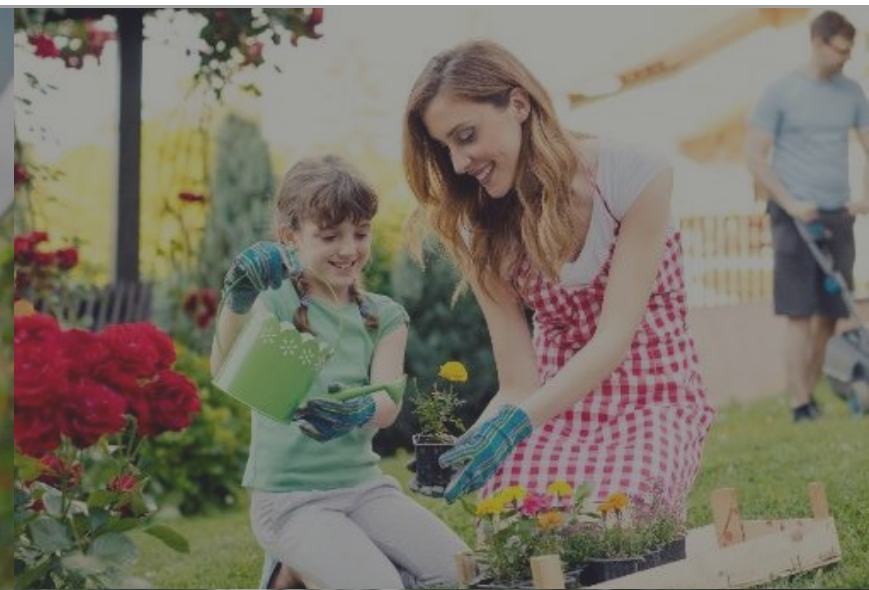
- ・ 国内最大級の建設・測量専門展示会「CSPI 2026」に出展予定
- ・ 発電・切断・溶接の3つのソリューションに分け、新機種を中心に展示
- ・ 「人と自然と未来をつなぐ体験型ソリューション」をコンセプトに、実際に「見て・触れて・体感」いただける展示を予定



[※関連ニュースリリースはこちら](#)



ブースイメージ



APPENDIX

会 社 名	株式会社やまびこ (YAMABIKO CORPORATION)
設 立	2008年12月1日
本 社	東京都青梅市末広町一丁目7番地2
売 上 高	174,020百万円 (2025年12月期連結)
資 本 金	6,000百万円
決 算 期	12月31日
連 結 子 会 社 数	14社※ (国内6社・海外8社/2025年12月末現在)
従 業 員 数	2,945名 (2025年12月末現在/連結)
上 場 市 場	東京証券取引所プライム
証 券 コ ー ド	6250
発 行 済 株 式 総 数	44,108,428株 (2025年12月末現在)
単 元 株 式 数	100株

※持分法適用関連会社1社を除く




世界初となる手持ちブロワに加え、国内初の背負式刈払機やスピードスプレーヤなどを開発



2000年代の排出ガス規制強化・業界再編を経て、歴史と実績のある2社が合併。経営基盤強化とシナジー効果の発揮により、持続的成長を目指して設立



 株式会社 共立

設立 1947年 (昭和22年)

新タイワ工業株式会社

設立 1952年 (昭和27年)



株式会社やまびこ

設立 2008年 (平成20年)



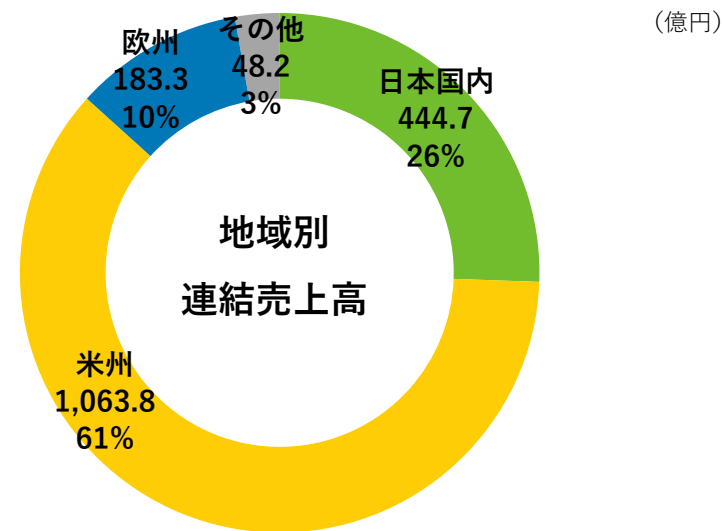
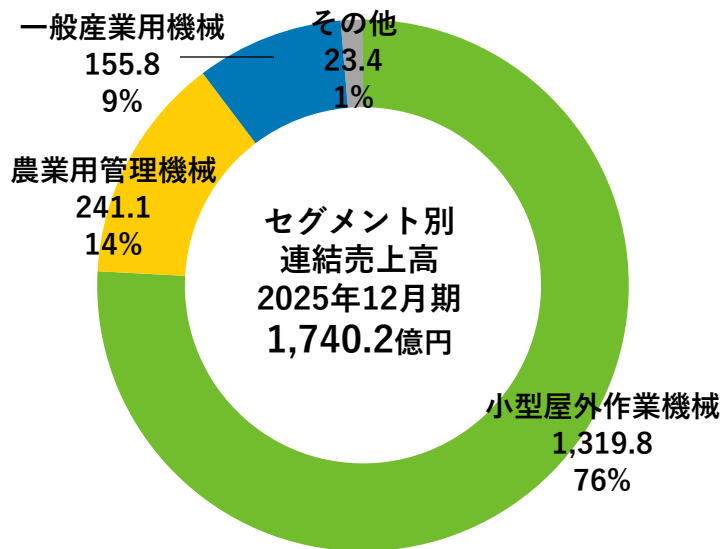
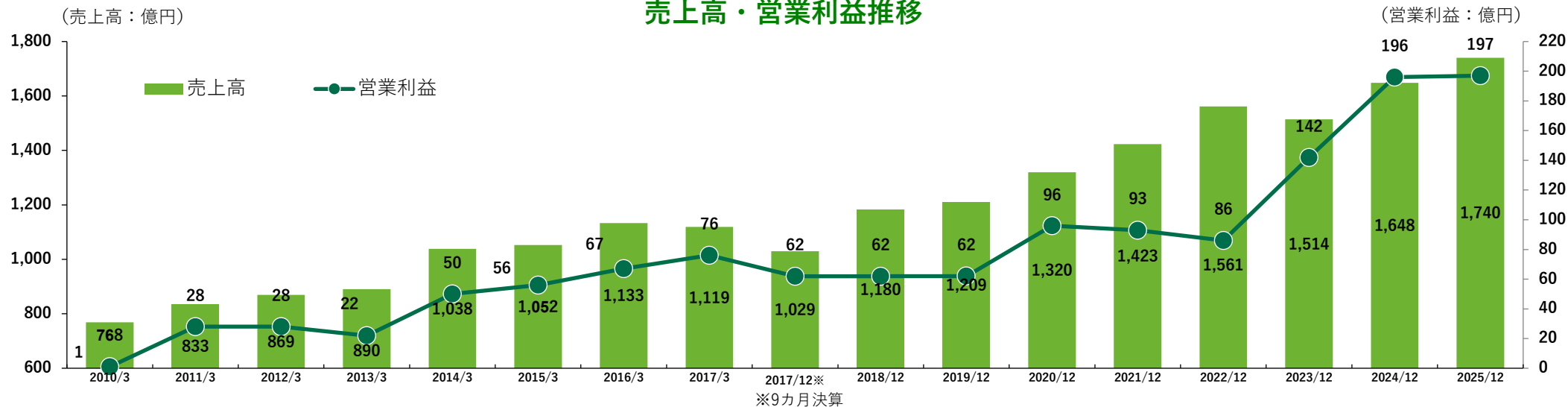
電動チェーンソーを経て、世界初となる混合式4サイクルエンジンやマルチ発電出力などを開発



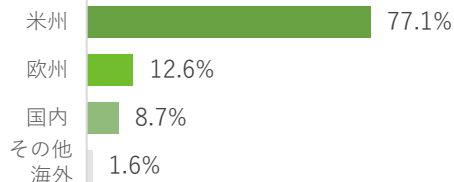
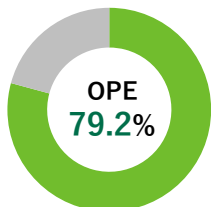
社名の由来

山の神様である「山彦」を社名に掲げ、自然と環境の育成、整備への貢献を理念に持つ会社姿勢の象徴とする

売上高・営業利益推移



売上高・地域別構成比
(2026年12月期 第1四半期)



国内は農家・林業家の芝刈や伐木用として、海外はOPE※と称され、主に緑地管理を事業とする専門業者が庭や緑地の管理に使用する作業機として販売

海外においては造園業など緑地管理を事業とする専門業者向けのプロユーザー市場と主に自家用で使用する住宅所有者向けの一般ユーザー市場に分類

製品は動力源にエンジンやモーターを搭載した屋外作業機のほか、ロボット芝刈機も含む



市場ニーズを満たす製品開発力

- 動力源を問わず、プロユーザー向けの高い作業効率を持つ製品を開発



技術的な強み

高品質・環境規制に
適合したエンジン

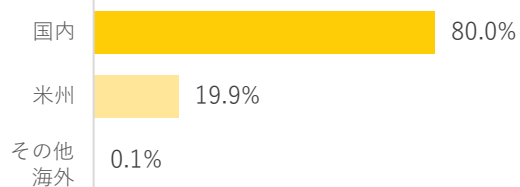
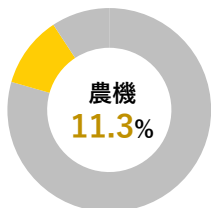
- 小型・軽量・高出力(手持機に最適)・低コスト
- 環境対応エンジン認証数、業界トップクラス

環境負荷低減と作業性の両立

- プロサイドに立った出力・制御技術に優れる電動製品
- 化石燃料から代替燃料への適用技術

※Outdoor Power Equipment

売上高・地域別構成比
(2026年12月期 第1四半期)



国内は、水田・畑作・果樹・畜産など様々な作業現場で用いられる防除機械や、省人・省力化に寄与する作業機を製造販売
北米においては、農作物収穫機械を製造販売



技術的な強み

培った防除技術にICTを融合し、スマート農業に貢献

送風技術・噴霧技術・散布技術

- 水田、畑作、果樹、施設栽培などあらゆる栽培体系において均一散布を実現
- 低騒音・大風量を実現する送風システムを開発
- 農薬飛散を低減させるやまびこノズルの自社開発

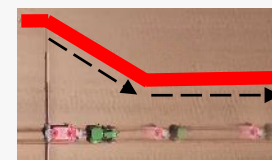


やまびこノズルの噴霧状態（扇形状）
(平均粒子径 110~270 ミクロン)

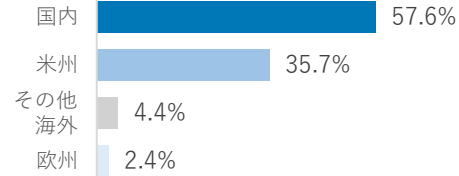
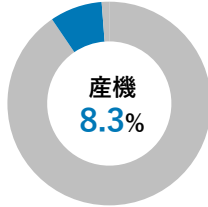


ICT

- 世界標準の通信技術（ISOBUS）を用いて、トラクタと相互通信
- 全球測位衛星システム（GNSS）により圃場内に適正な量の農薬を適正な場所にムダなく散布
- 設定した圃場の形状に合わせて散布エリアを自動制御する世界初の技術



売上高・地域別構成比
(2026年12月期 第1四半期)



建設工事・防災・減災のほか
資源採掘現場やイベント会場等で用いられる機械の
製造販売



マルチハイブリッドシステム

太陽光発電・蓄電池・発電機
3つの電力源を組み合わせた
環境配慮型発電システム



発電機



投光器

技術的な強み

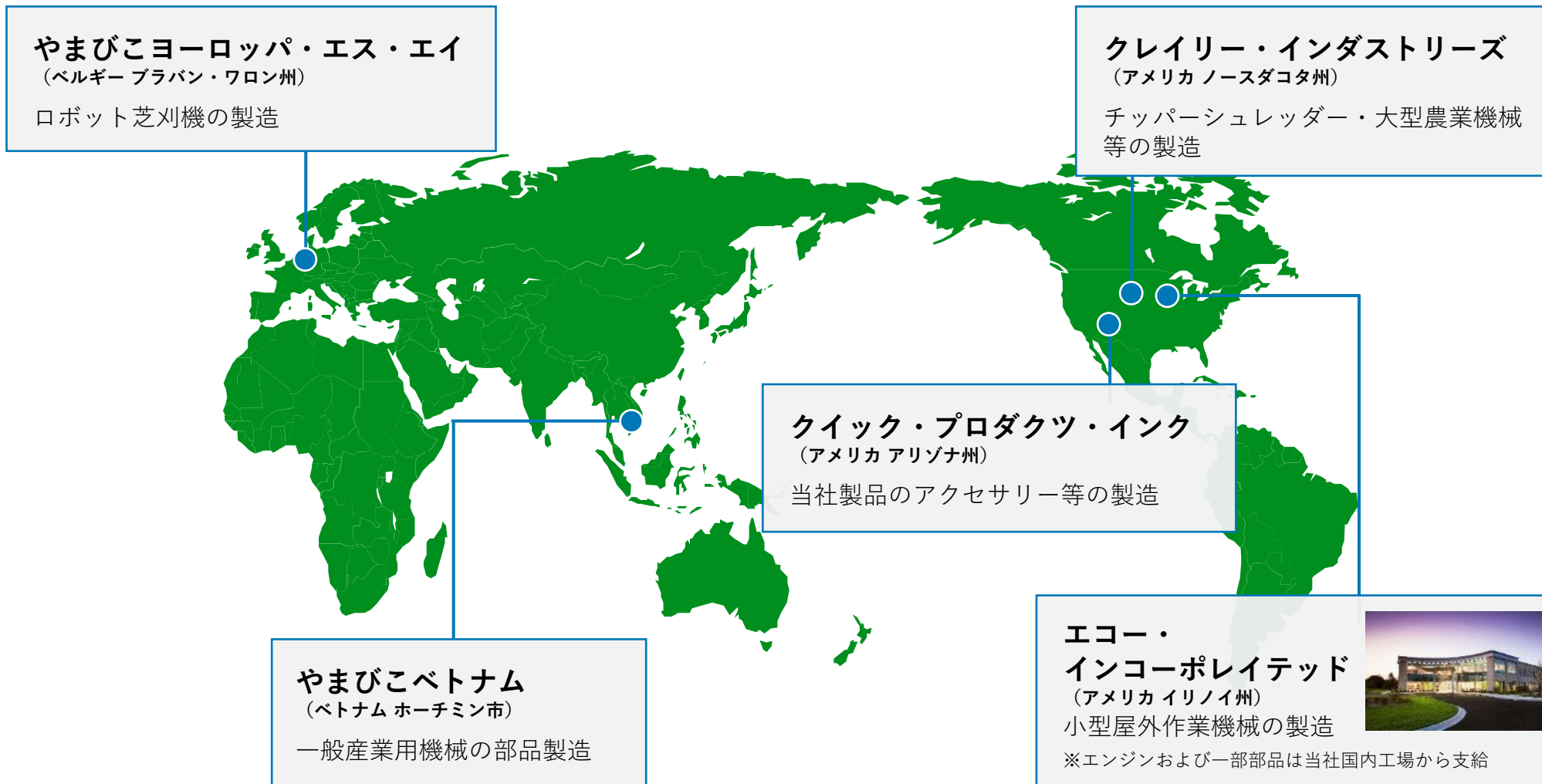


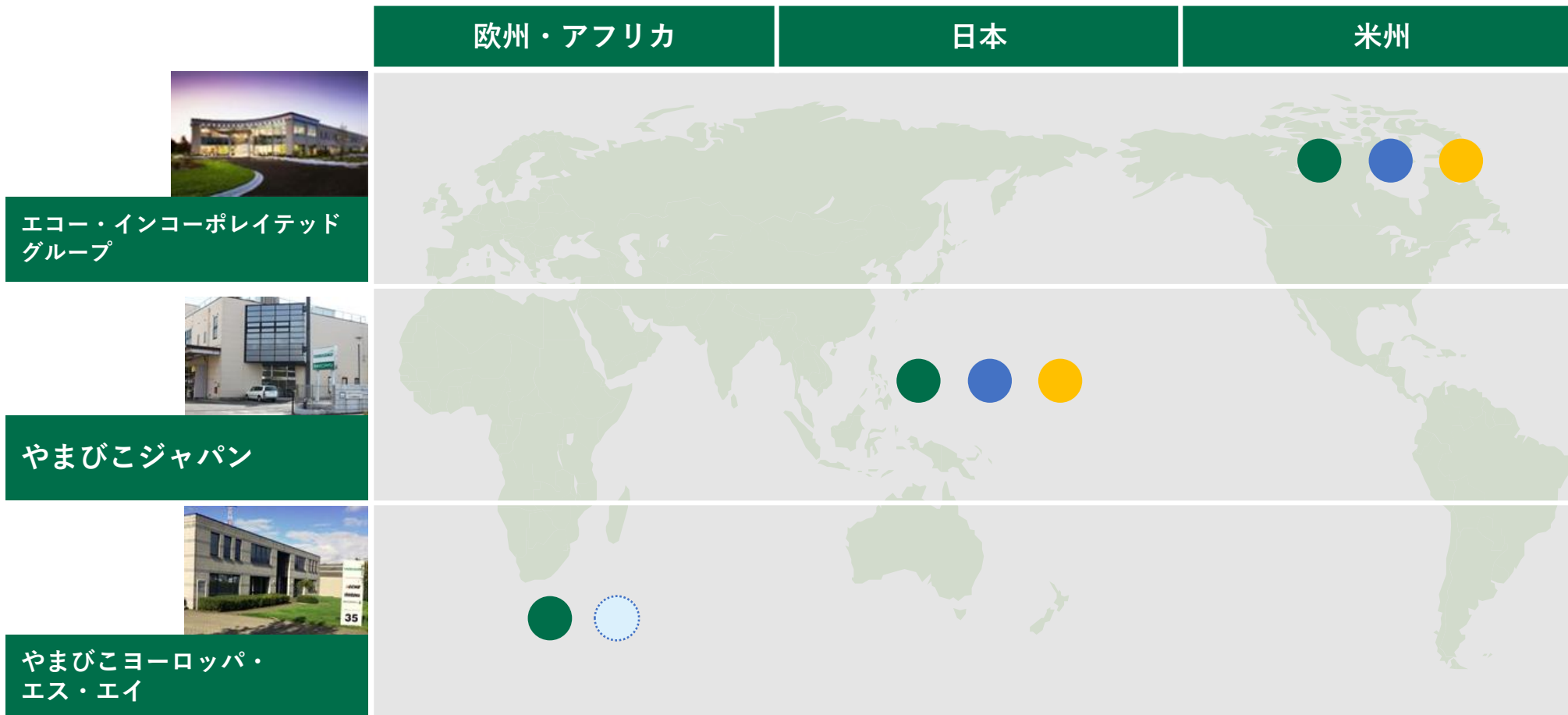
世界初の三相/単相3線
切替なし同時出力可能
(米国特許・国内特許取得済み)



「ダブルECO」
低燃費・騒音排出ガス効果に優れ
た2つのエコ機能の開発







● 小型屋外作業機械 (Outdoor Power Equipment)

● 一般産業機械

● 農業用管理機械

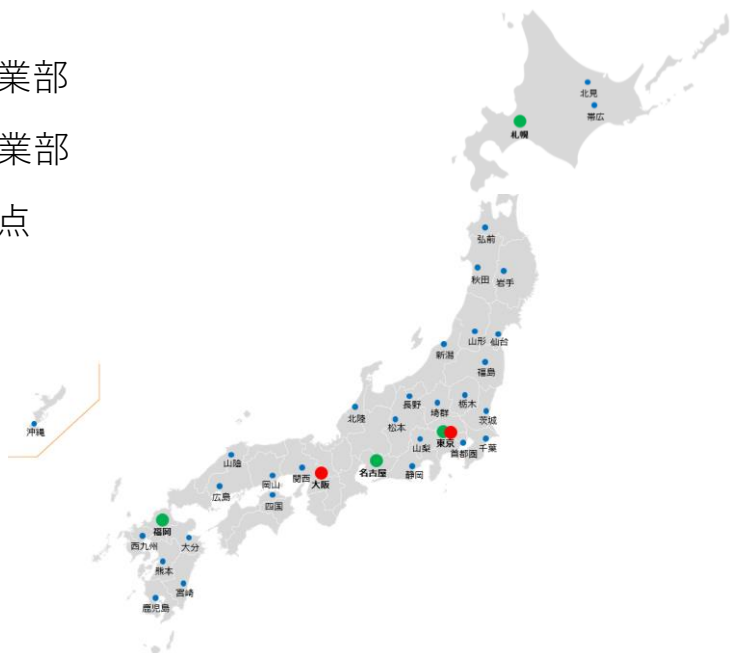
※アジア・中東・オセアニア地域にはやまびこ本社から販売

やまびこジャパン株式会社

会社名 やまびこジャパン株式会社
 設立 2017年6月
 本社 東京都青梅市
 拠点 6営業部 36拠点

国内販売拠点一覧

- 農林営業部
- 産機営業部
- 営業拠点



日本市場における販売拠点

多様な販売ルートと充実の営業体制で
 3事業3ブランドの販売を担う

充実した営業体制

- 共立・新ダイワ・エコーの3ブランドを販売
- 国内6営業部、36拠点の充実した営業体制
- 全社員の7割が営業・サービスに従事

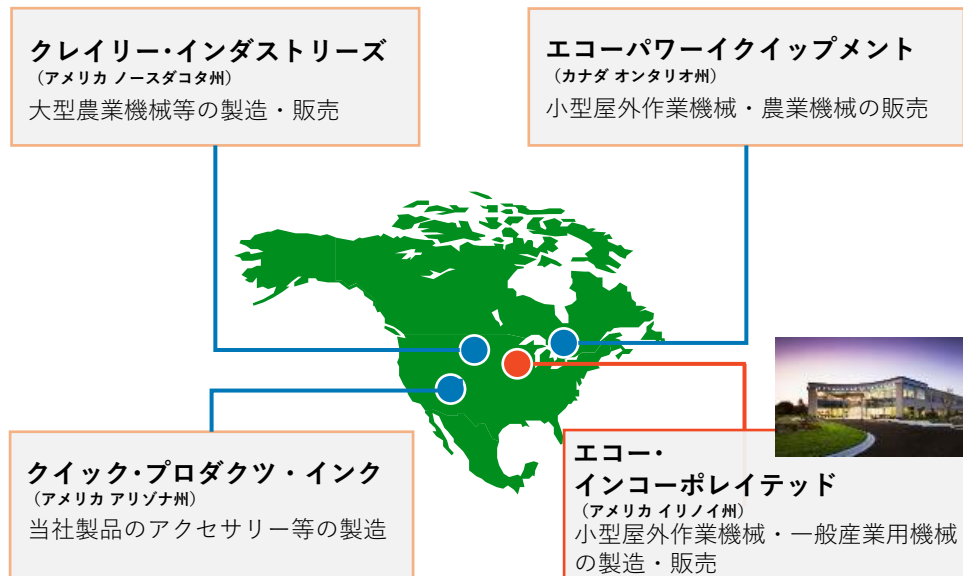
セールス＝エンジニアとして迅速なサービス提供

- 高い専門性を有する社員がアフターサービスまで一貫して対応
- 農機具販売店やホームセンター、建機レンタル会社などの幅広い販売ルートを通じて多くのお客様に製品を提供



会社名 エコー・インコーポレイテッド
 設立 1972年11月
 本社 アメリカ・イリノイ州
 子会社 2社

エコー・インコーポレイテッドグループ



米州で50年続くECHOブランド

OPE・産業機械・大型農機用補助機の製造・販売拠点

やまびこグループ最大の販売会社

- 1972年の設立以来、米州市場で小型屋外作業機械を販売
 グループ売上高の6割を占める（2025年実績）

OPE市場をリードするECHOブランド

- パワーブロワ（1978年）や芝生の溝切機（1990年）
 など 世界初となる製品を投入し常に市場をリード
- 「Xシリーズ」をはじめプロユーザーから信頼を集める



世界初のパワーブロワ



プロ向け製品群「Xシリーズ」

YAMABIKO EUROPE SA

会社名 やまびこヨーロッパ・エス・エイ

設立 2002年3月

本社 ベルギー・ブラバン・ワロン州

欧州地域の販売拠点

欧州・アフリカの34か国に販売



やまびこヨーロッパ・エス・エイ

自動芝刈機の製造・販売
および小型屋外作業機械の販売

欧州地域のOPE販売とロボット開発拠点

2021年に完全子会社化 欧州販売戦略を推進し売上拡大を図る

ベルギーから欧州全域へ展開

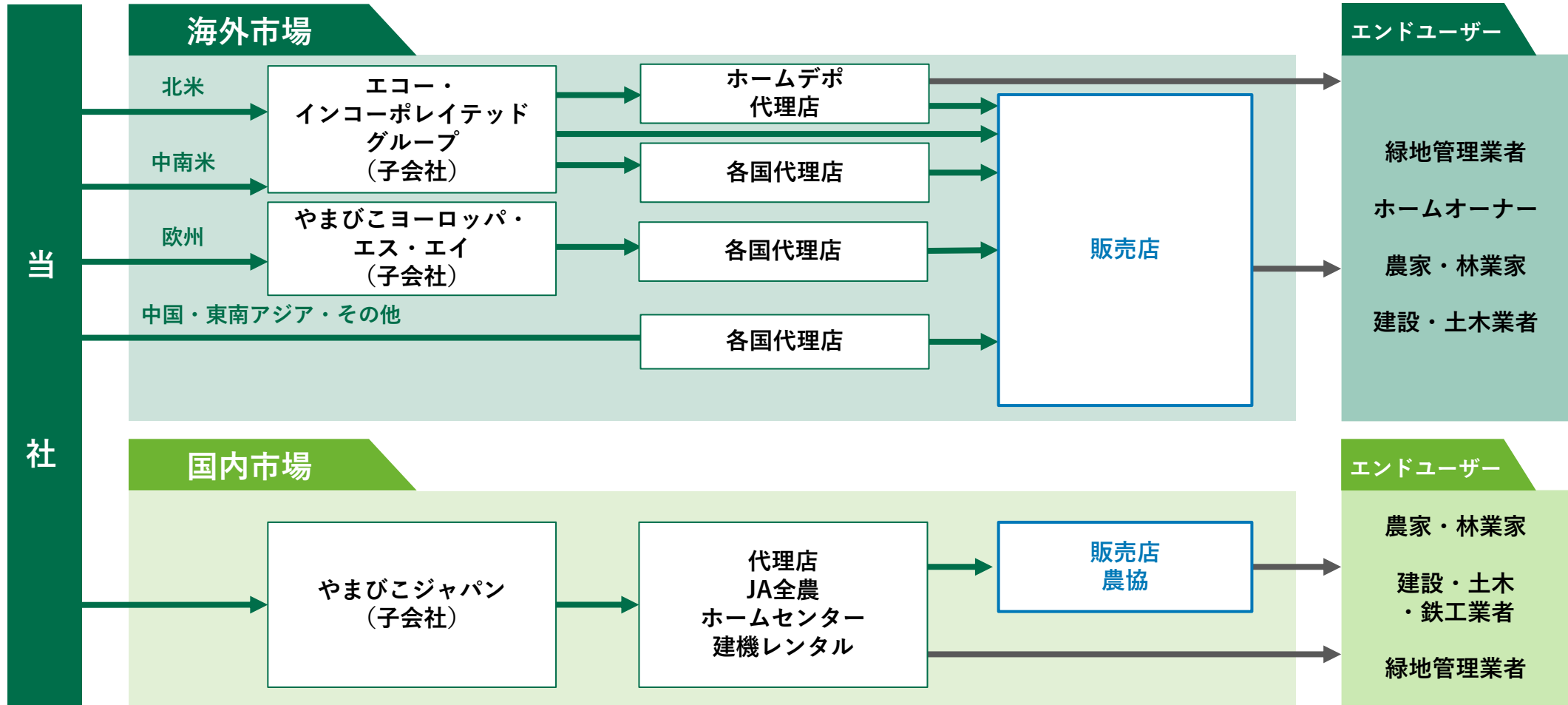
- 欧州・アフリカの34か国でOPE製品を販売
- 統一した販売戦略と代理店・販売店サポートにより更なる売上拡大を図る

お客様の声を取り入れた開発・販売体制

- ロボット芝刈機の普及が進む欧州でマーケットインの開発を行い、業界をリードするロボット芝刈機を開発・販売



販売経路



国内エンドユーザー



農家

建設・土木・
鉄工業者



林業家

海外エンドユーザー



緑地管理業者



ホームオーナー



農家・林業家



建設・土木業者

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

お問い合わせ先

株式会社 やまびこ 企画・経理本部 経営企画部

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2

e-mail : ir6250@yamabiko-corp.co.jp